


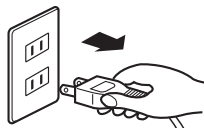


## 9 消耗部品の交換方法

日々の作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。

以下の「消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

-  **警告** 消耗部品の交換やメンテナンスの時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、作業を行ってください。プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。
-  **警告** 取扱説明書に記載されている以外の間違った方法で交換すると機械が正常に働かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります
-  **警告** 消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。

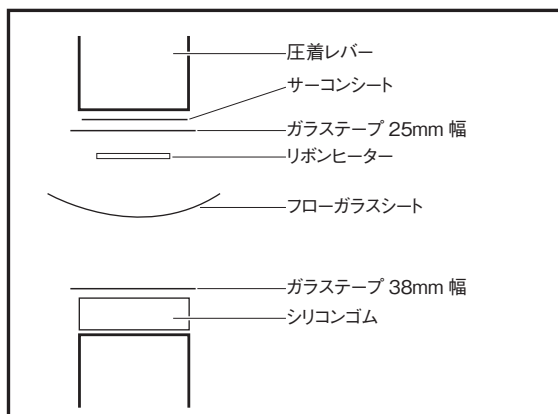


必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で作業を行ってください。

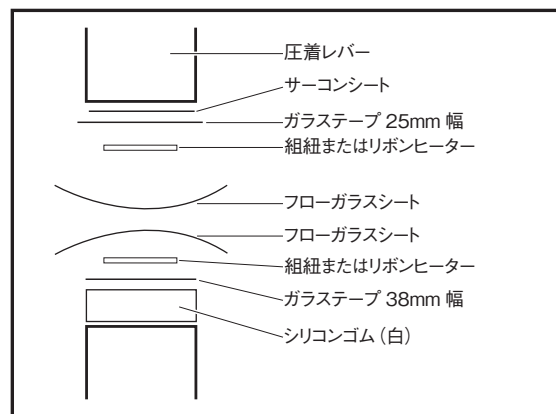
### シール部の構造

シール部は下イラストの部品から構成されていますので、部品交換の時は順番を間違えないように取り付けてください。

#### 1 片側加熱式のシール部の構成



#### 2 上下加熱式のシール部の構成



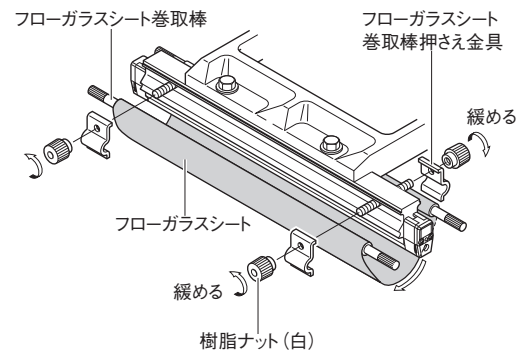
## 9-1 フローガラスシートのずらし方

【交換の目安】 フローガラスシートが破れた、焦げた  
シールが汚い等

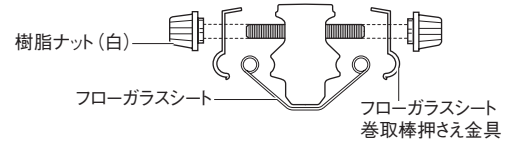
フローガラスシートは単品販売、補修部品セット販売して  
います。

フローガラスシートは予備として巻取棒に25cm 巻いてあ  
ります。

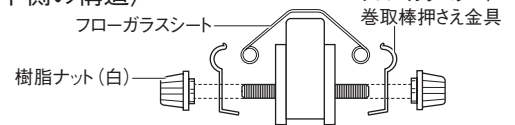
- 1 フローガラスシート巻取棒が回せる程度に圧着  
レバーの前後にある樹脂ナット（白）4 個を緩め  
ます。
- 2 ヒーターの下に新しいフローガラスシートが来るよ  
うに前後どちらかのフローガラスシート巻取棒にフ  
ローガラスシートを巻き取ってください。
- 3 1 で緩めた樹脂ナット（白）を締めてフローガラス  
シート巻取棒押さえ金具でフローガラスシート巻  
取棒を固定してください。



### 〈上側の構造〉



### 〈下側の構造〉



## 9-2 ヒーターの交換 (組紐・リボンヒーター共通)

【必 要 物】 プラスドライバー

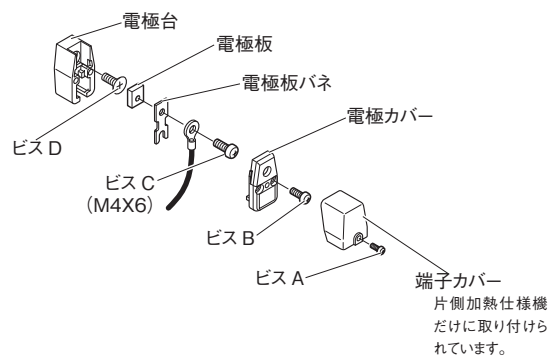
【交換の目安】 凸凹が発生した(リボンヒーターのみ)、ヒーターが切れた、シールが汚い 等  
組紐・リボンヒーターは単品販売、補修部品セット販売  
しています。

ヒーターを取り付けている電極は、右イラストのような部  
品構成になっています。

**警告** もし誤って、ビスCを紛失した場合、ビスC  
(M4x6)より長いビスを代用しないようにしてく  
ださい。ビスCより長いビスを使用すると電極  
台を固定しているビスDと接触して、ショートす  
る危険性があります。

**注意** ヒーター交換時はガラステープ、サーコンシート  
の破損状況もかならず確認し、傷んでいるよう  
であれば同時に交換してください。  
ガラステープ、サーコンシートが傷んでいてヒー  
ターと製品またはフレームが直接接触すると  
ショートする危険性があります。

**MEMO** ビスや電極カバーを紛失しない様に電極カバー  
を外さないでヒーターを交換できる構造になっ  
ています。



## □ 上側ヒーター（対象：全製品）

**注！** 工場出荷時、Fi-WA-300-10WK には組紐ヒーターが取り付けられています。組紐ヒーターはリボンヒーターに交換可能です。  
上記以外の機種にはリボンヒーターのみを使用しています。

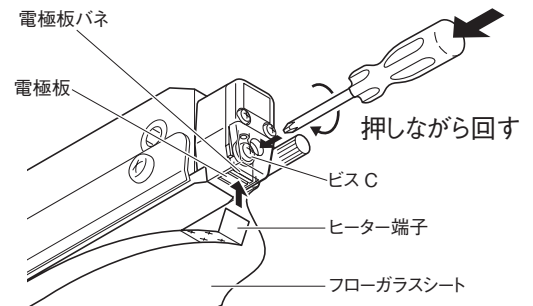
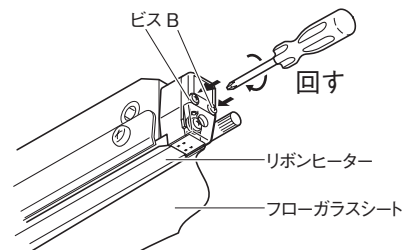
**注！** 組紐ヒーターからリボンヒーターへ交換、またはリボンヒーターから組紐ヒーターへ交換した場合、同じ加熱時間でシール状態が異なる場合があります。シール状態を確認しながら適切な加熱時間に調整してください。

- 1 上側のフローガラスシートを取り外します。（「9-1 フローガラスシートのずらし方」を参照してください。）
- 2 左右双方電極のビス B を緩めてヒーターが左右に張られていない状態にします。（電極カバーを取り外す必要はありません。）

**注意** ビス B を緩めないで、ヒーターが左右に張られた状態のままになるのでヒーターを取り付ける際に適切に電極板と板バネの間にヒーター端子をセットできなくなります。

- 3 電極カバーの穴にプラスドライバーを差し込み、ビス C を緩めるとヒーターを取り外すことができます。
- 4 新しいヒーターを取り付ける時は、電極の片方ずつ、電極板と板バネの間にヒーター端子を差し込み、電極からヒーターが浮かないようにヒーター端子を指で押さえたままヒーター止めビス C をドライバーで押しながら締め付けて固定します。
- 5 2 で緩めたビス B を確実に締め付けヒーターが左右に張られた状態にします。（ビス B の締め付けが緩いとヒーターが左右に張られた状態にならずヒーターが損傷する原因になります。）

**注！** 下記イラストはリボンヒーターですが、組紐ヒーターでもヒーターの交換方法は同じです。



□ 下側ヒーター（対象：上下加熱式）

**注！** 工場出荷時、Fi-WA-300-10WK には組紐ヒーターが取り付けられています。組紐ヒーターはリボンヒーターに交換可能です。  
上記以外の機種にはリボンヒーターのみを使用しています。

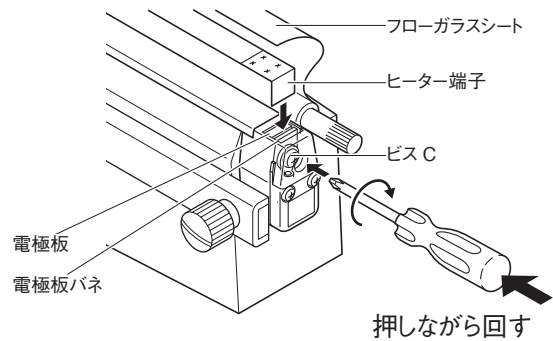
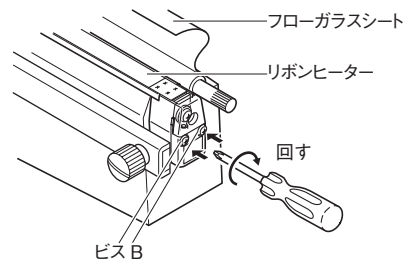
**注！** 組紐ヒーターからリボンヒーターへ交換、またはリボンヒーターから組紐ヒーターへ交換した場合、同じ加熱時間でシール状態が異なる場合があります。シール状態を確認しながら適切な加熱時間に調整してください。

- 1 フローガラスシートを取り外します。（「9-1 フローガラスシートのずらし方」を参照してください。）
- 2 左右双方電極のビス A をプラスドライバーで緩めて端子カバーを外します。（右イラストは端子カバーを取り外した状態です。）
- 3 左右双方電極のビス B を緩めてヒーターが左右に張られていない状態にします。（電極カバーを取り外す必要はありません。）

**注意** ビス B を緩めないと、ヒーターが左右に張られた状態のままになるのでヒーターを取り付ける際に適切に電極板と板バネの間にヒーター端子をセットできなくなります。

- 4 左右双方電極の電極カバーの穴にプラスドライバーを差し込み、ビス C を緩めるとヒーターを取り外すことができます。
- 5 新しいヒーターを取り付ける時は、電極の片方ずつ、電極板と板バネの間にヒーター端子を差し込み、電極からヒーターが浮かないようにヒーター端子を指で押さえたまま、ヒーター止めビス C をドライバーで押しながら締め付けて固定します。
- 6 3 で緩めたビス B を確実に締め付けヒーターが左右に張られた状態にします。（ビス B の締め付けが緩いとヒーターが左右に張られた状態にならずヒーターが損傷する原因になります。）
- 7 電極に端子カバーをビス A で固定してください。

**注！** 下記イラストはリボンヒーターですが、組紐ヒーターでもヒーターの交換方法は同じです。



### 9-3 サーコンシート、ガラステープ 25mm 幅の交換

【必要物】 はさみ、プラスドライバー、アルコール（エタノール）

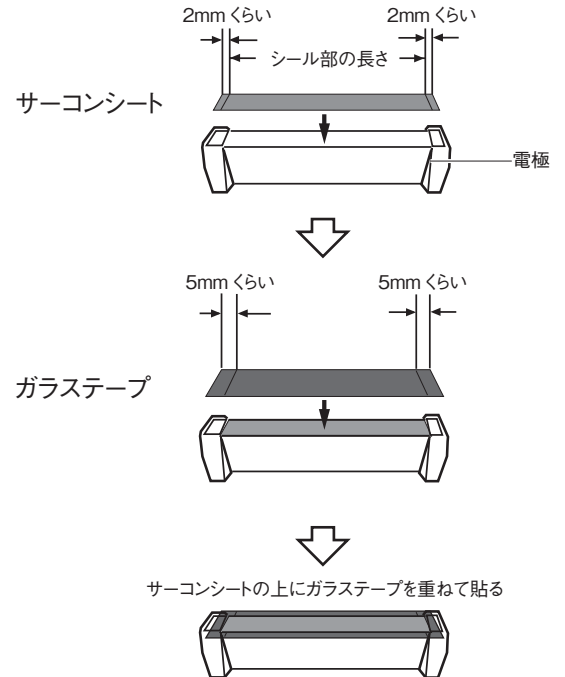
【交換の目安】 ヒーターがよく切れる、シールが汚い等  
ガラステープ、サーコンシートは単品販売、補修部品セット販売しています。

- 1 「9-1 フローガラスシートのずらし方」「9-2 ヒーターの交換」をご覧ください。フローガラスシート、ヒーターを取り外してください。
- 2 ヒーター下側のガラステープとサーコンシートをきれいにはがしてください。

**注!** 粘着のりが残っている上にサーコンシート、ガラステープを貼りますと、シール面に悪影響をおこします。

- 3 新しいサーコンシートをシール部の長さより左右それぞれ約 2mm ずつ長めにカットして貼り付けます。(1枚)
- 4 ガラステープをサーコンシートの上に重ねて貼り付けます。約 5mm ずつシール面の外側（電極の上）から貼り付けてください。(1枚)

**注!** ガラステープ交換の際に、サーコンシートのシール受け板への貼り付け粘着力が低下していましたらガラステープとともにサーコンシートも交換してください。



## 9-4 ガラステープ 38mm 幅の交換

### 対象：片側加熱式の製品

【必 要 物】 はさみ、アルコール(エタノール)

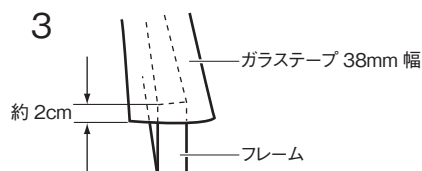
【交換の目安】 ヒーターがよく切れる、シールが汚い等

ガラステープ 38mm 幅は単品販売しています。5 枚組または 10M 巻。

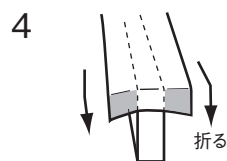
- 1 傷んだガラステープ 38mm 幅をはがしてください。
- 2 アルコール(エタノール)でシリコンゴム(白)に付いている粘着のりをよく取り除いてください。貼り合わせてください。

**注!** 粘着のりが残っている上にガラステープを貼りますと、シール面に悪影響をおこします。

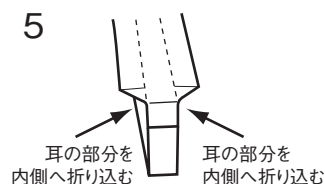
- 3 フレームから約 2cm 余分に出るようにシリコンゴム(白)の上に貼り付けます。



- 4 余分に出した部分を下に折ります。



- 5 折った所の耳の部分を実イラストのように内側へ折り込みます。



- 6 両サイドに張り出している部分をフレームの両サイドに貼り合わせます。



## 9-5 シリコンゴム (白) の交換

【必要物】 アルコール (エタノール)、乾いた布

【交換の目安】 シールが汚い等

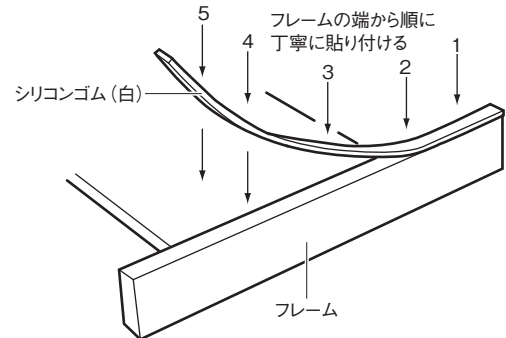
シリコンゴム (白) は単品販売、補修部品セット販売しています。

- 1 シリコンゴム (白) をフレームから取り除きます。シリコンゴム (白) は、粘着テープで貼り付けてあります。
- 2 フレームの金属部に残った粘着のりをアルコール (エタノール) などを使ってとります。

**注!** 粘着のりが残っている上に新しいシリコンゴムを貼りますと、シール面に悪影響をおこします。

- 3 新しいシリコンゴム (白) をフレームの端から順に丁寧に貼ってください。

**注!** シリコンゴムは貼り直しができません。



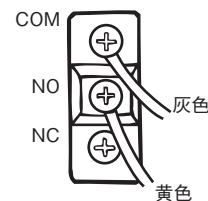
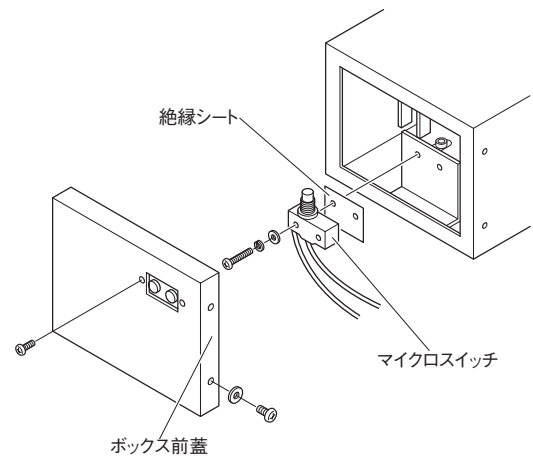
## 9-6 マイクロスイッチの交換

【必要物】 プラスドライバー

マイクロスイッチは単品販売しています。

**警告** マイクロスイッチの交換は必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

- 1 配電ボックスの前側のボックス前蓋を外します。
- 2 マイクロスイッチを固定しているビスを外してマイクロスイッチを外します。
- 3 マイクロスイッチの配線を外します。(ビスで固定されています)
- 4 新しいマイクロスイッチに「11 配線図」を及び右イラストをご覧ください、端子の接続を間違えないように配線を接続してください。
- 5 茶色の絶縁シートを配電ボックスのマイクロスイッチ取り付け部とマイクロスイッチの間に挟み込んだ状態で2で外したビスでマイクロスイッチを固定してください。
- 6 1で外したボックス前蓋を取り付けてください。



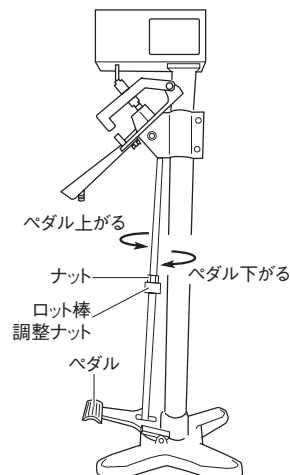


## 10 各部の調整方法

### 10-1 ペダル高さの調整

ロット棒調整ナットを回すことでペダルの高さ(角度)を調整できます。

- 1 ロット棒調整ナットを固定しているナットをスパナで緩めます。
- 2 ロット棒調整ナットを左へ回すとペダルが下がります。
- 3 ロット棒調整ナットを右へ回すとペダルが上がります。
- 4 調整が終わったら緩めたナットを閉めなおして下さい。



### 10-2 シール圧力の調整

マイクロスイッチ上部にあるスイッチピン(ネジ式)のネジ部の長さを調整することでシール圧力を調整することができます。

- 1 配電ボックスの前側にあるボックス前蓋を外します。
- 2 ペダルに軽く踏み圧をかけるとマイクロスイッチスプロケットのスイッチピン(ネジ式)が見えるようになります。
- 3 圧力を増したいときはスイッチピン(ネジ式)を左に回します。圧力を減らしたいときはスイッチピン(ネジ式)を右に回します。

